



鹿児島県知事選(6月20日告示 7月7日投票) スタート

16日、川内原発が立地している薩摩川内市で「てのくち里花さんを囲むつどい」(主催 同名の準備会)が行われ、いよいよ迫ってきた鹿児島県知事選挙(6月20日告示7月7日投票)に立候補表明をしているてのくち里花(52)さんは、知事選にむけての政策と決意を語りました。

「てのくち里花さんを知事にする薩摩川内の会」が設立

冒頭に司会の井上勝博薩摩川内市議が、てのくちさんのプロフィールと政策を紹介。てのくちさんは「塩田知事と元自民党県議の米丸氏の対決では、川内原発と軍事基地が争点にならないと考え、自ら立候補する決断をした」「常設型の県民投票条例をつくり、大事なことは県民投票で決める県政にしたい」と語りました。参加者からは「なぜ政党の推薦を受けないのか」「てのくちさんが出てくれてほんとうに良かった」「なぜはつきりと原発反対とは言わずに『県民の声を聞く』なのか」など次々と質問や感想が出され予定の時間をオーバーするほどでした。質疑が終わった後にその場で「てのくち里花さんを鹿児島県知事にする会を設立し、反対連絡協議会」の鳥



てのくち里花さんを囲むつどい (= 16日、薩摩川内市内)

土地・家屋台帳閲覧を廃止(薩摩川内市)

薩摩川内市は、2024年度から固定資産税に係る登記情報を電子化し、これにより、2024年3月31日から窓口における紙の土地台帳・家屋台帳での登記情報の更新を停止し、2025年から閲覧を廃止します。廃止後の情報取得は法務局まで出かけるかインターネット閲覧することになります。

薩摩川内市の場合、現行で台帳一冊の閲覧で200円。しかも、一冊に数百件ほどの情報が掲載されています。しかし、法務局の窓口では、一件(一筆)につき450円かかりま

す。不動産に関わる業者が、営業先を開拓するための情報収集の手段としていた可能性があります。一方で、個人の閲覧者も少数ですが一定数

いると思われます。日本共産党の井上勝博薩摩川内市議は、「これまで土地や家屋の生活相談で、台帳の閲覧で解決したケースは数多くある。最近では敷地内

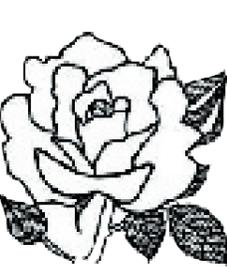
を通っている里道が壊れる」と語ります。市によると、サービス廃止後、土地・家屋の情報を知るためには、インターネットで登記情報を見られる「登記情報提供サービス」を利用するか、法務局で調べることとなります。市の窓口係の職員は「利用する市民にとってみ

ると、遠くまで足を運ばなければならなくなり、心苦しい部分がある」と話しています。(写真は薩摩川内市役所)



家賃が半分になった

昨日に宮下団地に住むかたから電話がありました。「きずな1079号」を見て家賃減免を5月28日に申



請したら家賃が半分になった。助かりました」とのこと。「それは良かった!」と思わず口から言葉が飛び出しました。その方は「月額8万円の年金しかなく、『節約!節約!』で我慢してきた。家賃の減免は知っていたが自分は対象外だと思っていた。「きずな」をみて試しに申請しまし

こちらくらし
の相談所 (No. 576)
携帯 080-3996-0237 (井上)

エプロンおばさんの 簡単クッキング (638)



塩キャベツと ウィンナーの炒め物

材料(2人分).....
春キャベツ 150g、ウ
ィンナー 4本、レモン・
粒マスタード各適量

作り方.....

①キャベツは葉脈を取って細切りにし、塩小1/2を絡めて約10分おき、水気を拭き取る。ウィンナーは半分の長さに切る。

日本共産党 演説会

7月21日(日) 14時 ss プラザせんだい 301



笠井亮 衆院議員

(弁士)
笠井 亮

(衆院議員・日本共産党)

井上かつひろ

(薩摩川内市議)



薩摩川内市議会6月定例会一般質問

日本共産党井上かつひろ市議

6月27日(木) 午後1時頃

薩摩川内市議会6月定例会の一般質問順番が決まりました。日本共産党の井上かつひろ市議は27日木曜日午後1時ごろと思われる。前の人が早く終われば午前中から始まることもあります。

- 1, 土地台帳・家屋台帳閲覧廃止について
 - (1) 法務局での手数料と市の手数料よりもはるかに高いがどう考えるか。
 - (2) 市は更新と閲覧の継続をすべきではないか。
- 2, 重度心身障害者医療費助成制度の所得制限について
 - (1) 所得制限によって影響を受ける人数と医療費給付額は
 - (2) 鹿児島県に所得制限の撤廃を求めることができるか。
 - (3) 影響を受ける障害者の医療費を市が助成できないか。
- 3, 学校給食費の無償化について
 - (1) 全国でも3割の自治体が学校給食を無償提供しており、県内でも22市町村に広がっている。市長の感想を伺う。
 - (2) 市長は、「学校給食費無償化」についてどのような思いがあるか。
- 4, 学校給食センター化に伴う弊害について
 - (1) ひわき幼稚園からの要望について市はどのように受け止めるか。
 - (2) センター化によるメリットとデメリットの認識を伺う。
 - (3) 学校給食への異物混入は大量の食材を扱うことによるものではないか。
 - (4) センター化によって学校給食の時間が短くなっていないか。
- 5, 川内港の特定利用港湾指定について
 - (1) 特定利用港湾への指定により武器・弾薬の積み卸しがされることになっている。武器・弾薬とはどのような種類があるのか。
 - (2) さつま町に弾薬庫が設置されれば、川内港と公道を武器弾薬の運搬に使われることにならないか。
 - (3) オスプレイや軍用ヘリコプターが離発着することはないか。
 - (4) 川内原発の近くにある川内港を軍事利用するのは危険である。特定利用港湾の指定を断るべきではないか。



←中俣先生のブログはこちら

中俣先生の つれづれなるままに (762)



支部会議で、共産主義の魅力、「自由に処分できる時間」を巡って活発な議論が交わされた。志位さんの言っている自由は、資本に、搾取されている労働時間を取り戻し、午前中働いて、午後は自分の趣味や、やりたいことを生かし、人間的な発達を促すというものだ。私たち支部会議に結集している仲間たちは、退職し、資本の搾取から解放され「処分できる自由な時間」を持っている。私は退職した当時、解放された自由な時間をさて何に使おうかと思ったり、党の専従の仕事や、赤旗出張所が頭に浮かんだが、いずれもかなわなかった。赤旗出張所の仕事に至っては、「あなたなんかには任す仕事じゃない」と体よく断られた。そうこうするうちに神村の仕事が舞い込んできて、一年浪人したあとその任務に14年間、没頭した。神村を辞めた後は、児童クラブの仕事。いずれも資本に搾取される時間ではなく、やりたいことを生かし、神村では学生のため、児童クラブでは児童のため、その全面的発達に寄与した(している)と自負している。その間、詩の仲間たちとは詩作に励んだ。さて、支部会議での自由な時間の結論は、家庭の事情や自分がやりたいこと、時間と党活動がぶつかったとき、前者に時間を割いてもいいのではないかと、という寛大な結論だった。おかげさまで、孫のことや児童クラブの仕事に時間を割くことができ、いくつもの活動を休ませてもらい、支部のみなさまには感謝している。(高来児童クラブ支援員)